

学校検尿で発見された2型糖尿病をとりあげる

第222回 学校保健 セミナー

近年子どもにも増えている

正しい理解と事後管理の継続が大切

近年の食生活や生活習慣の変化にともない、子どもに2型糖尿病が増加しており、その対応策として1992年より学校検尿に「尿糖検査」が追加されている。6月29日、東京・市ヶ谷で開かれた第222回学校保健セミナーでは、「子どもの糖尿病 その病態と学校保健現場での対応」と題して、大和田操女子栄養大学教授(写真)が講演を行なった。会場には養護教諭を中心に学校関係者約1000人が参加し、熱心に耳を傾けていた。



本会では、駿河台日本大学病院小児科の協力のもと、全国に先がけて1974年より児童生徒の早朝尿による尿糖検査を行なっている。大和田教授は、当初よりこの事業に関わってこられた方である。まず、大和田教授は、早朝尿糖検査によるスクリーニングシステムを紹介するとともに、そこから得られた子どもの糖尿病の病態や特徴、その背景などについて解説を行った。「尿糖陽性者への対応については全国的な統一がされておらず、事後管理が不十分な地域もある」と指摘した。

また、大和田教授は、早朝尿糖検査によるスクリーニングシステムを紹介するとともに、そこから得られた子どもの糖尿病の病態や特徴、その背景などについて解説を行った。「尿糖陽性者への対応については全国的な統一がされておらず、事後管理が不十分な地域もある」と指摘した。さらに、駿河台日本大学病院での治療の変遷や、食事・運動・薬物療法の実践を紹介し、「長年の治療経験の蓄積とともに治療や管理の方法が改善し、最近では治療の中途脱落者が減少している」と述べ、「2型糖尿病は、病気でなく、体質なのだ」という意識をもって患者や家族

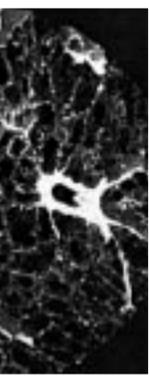
ば合併症が進んでしまったら、学校検尿による尿糖検査は有用である、としたうえで、「尿糖陽性者への対応については全国的な統一がされておらず、事後管理が不十分な地域もある」と指摘した。そして「学校現場でも、学童糖尿病検診研究会発行の『尿糖陽性児童生徒の事後措置ガイドブック』をもとに、糖尿病についての正しい把握、正しい扱いをしていただきたい」としめくくった。なお、本講演の詳細については、後日掲載の予定。

松井英介医師の顕微鏡CT 論文が国際学会で最優秀賞

「東京から肺がんをなくす会(ALCA)」の指導医の一人として肺がんの早期診断に携わってきた松井英介医師(岐阜環境医学研究所長)の顕微鏡CT論文(顕微鏡CTによる末梢気道・肺および肺せんがんの微細形態学的解析)が、先ごろスペインのバルセロナで開かれた第13回世界気管支学会・気管支支学会・気管支支学会で最優秀賞を受賞した。

顕微鏡CTは、顕微鏡なみに組織標本の微細構造を描出できるCTで(空間分解能5ミクロン)、ALCAを指導してきた国立がんセンター胸部グループと徳島大学工学部、東芝技術陣が開発した最新の装置、この装置を使用することで、肺切除標本を破壊することなしに肺の微細構造を描出できるシステムを発表したのが、高く評価された。

松井医師は今回の受賞はALCAもその一端を担った学際的な研究開発の成果が評価を受けたということだ。この技術の開発が、末梢気道の病態解明に一役買ったとうて期待している」と述べている。



写真上=最優秀賞受賞者に贈られるメダルを手にする松井医師。写真右下=顕微鏡CTで撮影された肺。穴状に見えるのが肺泡(幅約150ミクロン)で、肺胞の表面を薄くがんが這っているのが鮮明にわかる(左の白い部分)。

第79回 市ヶ谷超音波カンファレンス開く

本会では、水口安則国立がんセンター中央病院医長の指導のもとで、超音波検査の精度管理と検査技師の能力向上を目的としたカンファレンスを隔月で開催している。

9月11日午後1時~4時30分 慈恵医大1号館講堂で第22回臨床運動療法懇話会 家庭でできる運動療法

9月29日水午後2時~4時 東京・永田町「星陵会館」第197回ヘルスケア研修会が9月20日(水)午後2時から4時まで、東京・永田町の「星陵会館」で開かれる。

お知らせ

第197回ヘルスケア研修会 「こう変わるがん検診 考え方と実施方法」

「家庭でできる運動療法」骨粗しょう症との上手なつきあいをテーマに、講演や実技、骨密度測定などが行なわれる。

参加費2千円。受付は事前登録のみ。お問合せは、懇話会事務局まで(電話03-5275-1191)。

「こう変わるがん検診」考え方と実施方法」をテーマに、辻一郎東北大学大学院教授が講演する。司会は、三輪祐一 本会総合健診部長。

新刊紹介

これまで3冊の同名の著書に次ぐ4冊目、月刊誌「健康管理」に連載したものをまとめた「健康相談ノート(4)」が職場での健康相談の模様を美しく綴った。さすがに岡先生だ、いつも先生の文章を読ませていただき感心する。読んでいて「そのうち」

岡惺治先生の著書

「健康相談ノート(4)」を読んで

(財)熊本県健康管理協会専務理事 小山和作

業保健いや 予防医学全般に携わる 医師、保健師、職場の担当者には、ぜひ読んでほしい本 説教をする。それではこちら

「健康相談ノート(4)」を、健康増進法にも明確にうたってあるのだ



写真上=最優秀賞受賞者に贈られるメダルを手にする松井医師。写真右下=顕微鏡CTで撮影された肺。穴状に見えるのが肺泡(幅約150ミクロン)で、肺胞の表面を薄くがんが這っているのが鮮明にわかる(左の白い部分)。

「健康相談ノート(4)」を、健康増進法にも明確にうたってあるのだ

FUKUDA DENSO

学童検診業務の必携システム!

ECP-4641
医療器具承認番号:20800BZ200230000

- 学童省略4誘導、標準12誘導、心音図を自動解析
- 心電・心音図検査を60人以上/時間のスピードで処理
- 不整脈自動延長機能を搭載(学校保健法施行規則に対応)
- 内蔵フロッピー装置、ICカード装置で収録データの再生可能
- 成人病検診にも活用可能

※解析プログラムは学校心臓検診二次検診対象者抽出ガイドラインに対応
※検診業務に対応する専用パネル採用

フクダ電子ホームページ <http://www.fukuda.co.jp> お客様窓口 (03)5802-6600

●医用電子機器の総合メーカー
フクダ電子株式会社
本社 東京都文京区本郷 3-39-4 TEL (03) 3815-2121(代) F113-8483